

2011年4月10日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2011年4月30日】

団体名 子育て支援ボランティア「ミニマの木」

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。箇尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するための活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

「たまがわ・みらいパークの子育てひろば」の灯を消さない

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。「たまがわ・みらいパークの子育てひろば」は平成19年6月から「ミニマの木」が担ってきました。21年度までは市から補助がありましたが22年度からは施設は使えてもメンバーの交通費、手作りおもちゃなどの製作消耗品費も全く補助がなくなりました。ですから22年度は完全に「Shinjōプロジェクト助成金」によって運営することができました。「たまがわ・みらいパークの子育てひろば」の灯は消えなかったのです。ありがとうございます。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

毎週金曜日と木、水、火、土、日曜日の午前11時から午後3時まで南側の「子育てひろば」は、プレイルームヒランルームがあるので、お弁当を持参すれば4時間たっぷり、親子でゆったり過ごすことができます。3月～6月の乳児対象のベビーマッサージは新米ママにとってママ友、を作り「子育てひろば」を体験する絶好の機会になり、生演奏を聞きたくても乳幼児連中は困難ですが、私たちが企画するコンサートは椅子を、床にマットを敷いて子どもが寝て大丈夫という家族皆で楽しめるものにしました。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

たまがわみらいパークの子育てひろばは年末年始の二週間余りは休みでしたが、金曜日に当てれば、ゴールデンウィークも夏休みも祝日も南側して頂きました。メンバーが互いに都合を合わせて頑張ったのです。あとう回で22年度の「ひろば」終了という時に東日本大震災に会いました。当日は金曜日、3時以前から10組以上の親子も一緒に、怖く不安におどきました。その後計画停電の影響で「たまがわ・みらいパーク」が使用禁止となり「ひろば」も中止せざるを得ませんでした。しかし1年間で71回開催し2095人もの親子の居場所として機能しました。ちなみに21年度は70回で1038人でしたから「ひろば」利用者が倍にもなったのです。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

いただいた助成金で買ったカーテン。添付した「ベビボランティア」の写真に写っているカーテンですが、カーテンがよくなったと部屋全体が明るくなりました。「ベビボランティア」に参加した方が「ひろば」の常連になったり、お友達を誘って来てくれたり、仲間の鎖がじんじんつながっていました。私たちのメンバーに看護師がいることも安心のひとみになっていました。毎週金曜日は「たまがわ・みらいパークのひろば」に行く決めて来てくれる親子が多勢でした。1年間で、次年度からは「たまがわ・みらいパーク」の今後のどう動くか不明ですが、今までやってきたように知恵と努力で「ミニマの木」は活動し続けたいと思っています。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし



平成22年10月14日 “コンサート”



平成22年11月11日 “ベビーボランティア”